

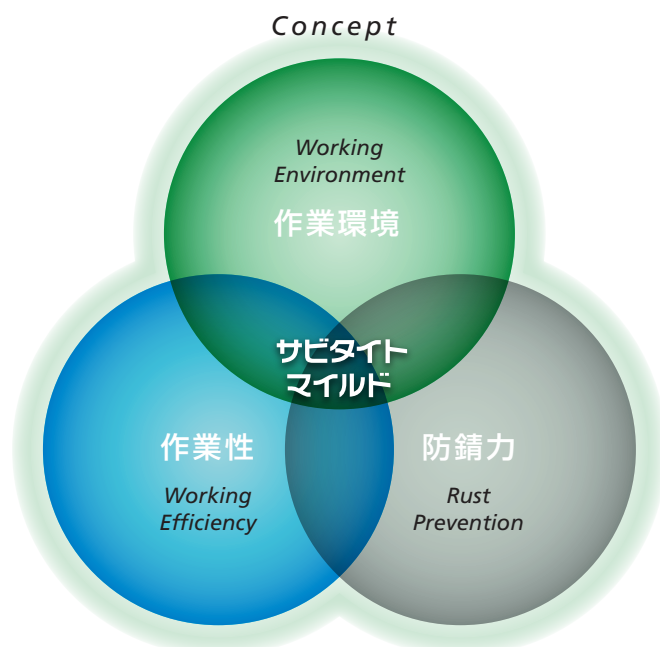


ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

弱溶剤型2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料

サビタイトマイルド

サビタイト マイルドは、 「作業環境」「作業性」「防錆力」を高い次元で融合 弱溶剤型2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料です。



● 防錆性 サイクル腐食試験 100サイクル後



サビタイト マイルド



市販品2液型弱溶剤変性エポキシ錆止め

▼試験条件(JIS K 5600-7-9)



特長

1

塗料用シンナーで希釈できる弱溶剤タイプの塗料です。
臭気が少なく作業環境にやさしく取扱いが楽な塗料です。

2

使用する溶剤がマイルドなため、
旧塗膜が合成樹脂調合ペイント系、フタル酸樹脂エナメル系、
アクリル樹脂エナメル系等であっても、直接塗布することができます。

3

防錆力が優れています。

4

日本建築学会 JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマーに
適合します。

用途

各種タンク、プラント

一般鉄部の下塗り材

サビタイトマイルド

させた

● 性能試験成績表 JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー

項 目	結 果	品 質
▶ 容器の中での状態	合格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき堅い塊がなく一様になるものとする。
▶ 乾燥時間	4時間	16時間以内(半硬化)
▶ 塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
▶ ポットライフ	8時間	5時間使用できるものとする。
▶ 耐衝撃性	合格	衝撃による変形で、塗膜に割れ・はがれができないものとする。
▶ 上塗り適合性	合格	上塗りに支障があってはならない。
▶ 耐塩水性	合格	塩化ナトリウム溶液に浸しても異常があってはならない。

Colors

※色見本は印刷のため色調が異なります。



赤さび色



グレー



白

■ 塗装方法	はけ塗り、ローラー塗り
■ 塗付量	0.16kg/m ² /回(標準膜厚 40μm)
■ 希釈剤	塗料用シンナー
■ 希釈率	0～10%(質量比)
■ 可使時間	8時間(23℃)
■ 乾燥時間	指 触 乾 燥:1時間(23℃) 半硬化乾燥:4時間(23℃)
■ 適海上塗塗料	ダイドーマイルドU、ダイドーシリコンセディア、ネオマリン、ダイドーマリンフラッシュ、水系パーマシリコン等
■ 塗装間隔	4時間以上7日以内(下塗 — 上塗 23℃)
■ 荷姿	16kgセット(主剤 14.4kg、硬化剤 1.6kg) 4kgセット(主剤 3.6kg、硬化剤 0.4kg) 主剤:硬化剤=9:1(質量比)

サビタイトマイルド

標準塗装仕様 新設 鉄部塗装の場合

工 程	品 名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
素地調整	●素地の汚れ、付着物をスクレーパー、ワイヤーブラシ等で完全に除去する。 ●油脂類はシンナーで完全に除去する。 ●さびはディスクサンダー、スクレーパー、ワイヤーブラシ、サンドペーパー等で除去する。					
下塗	サビタイト マイルド (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.16	はけ ローラー	4時間以上 7日以内
上塗	ダイドーマイルドU (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 5~10	2	0.12~0.14	はけ ローラー	4時間以上 7日以内

標準塗装仕様 塗替 鉄部塗装の場合

工 程	品 名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
素地調整	●旧塗膜は、浮いている部分をディスクサンダー等電動工具と、ワイヤーブラシ、スクレーパー等手工具を併用し除去する。活膜は残す。 ●さびの発生している部分は、同様にさびを除去する。 ●活膜表面をペーパー等で目荒らしする。					
発錆部 補修塗	サビタイト マイルド (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.16	はけ ローラー	4時間以上 7日以内
下塗	サビタイト マイルド (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 0~10	1~2	0.16	はけ ローラー	4時間以上 7日以内
上塗	ダイドーマイルドU (主剤:硬化剤=9:1)	塗料用シンナー 5~10	2	0.12~0.14	はけ ローラー	4時間以上 7日以内

注意事項

1. 下塗・上塗に用いたはけ・ローラー等の洗浄には、ウレタンシンナー又はラッカーシンナーをご使用下さい。
2. サビタイト マイルド、ダイドーマイルドUは2液性塗料ですので、配合比率通り正確に秤量し、主剤と硬化剤が均一に混ざるように十分攪拌して下さい。
3. 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。
 - ①気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
 - ②朝夕の結露時期
 - ③降雪雨時、またはその恐れのある時
 - ④強風下、塵埃などが付着する恐れのある時



本 社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
 東 京 支 店 〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目18番8号 TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
 名古屋支店 〒452-0962 愛知県清須市春日流77番地1 TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
 大阪支店 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号 TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
 札幌営業所 〒061-3244 石狩市新港南3丁目704番地8 TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
 千葉営業所 〒270-1403 千葉県白井市河原子木戸場364番地13 TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
 神奈川営業所 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名2507番地10 TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
 滋賀営業所 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
 姫路営業所 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号 TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
 広島営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目5番15号 TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本 社 工 場 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 滋 賀 工 場 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50 - 1200

’22. 9. 2版 3,000 LO